

# 第 37 回東海川崎病研究会のご案内

日 時 2017 年 5 月 20 日 (土) 14 時 30 分 ~ 18 時 00 分

場 所 名古屋国際センター 別棟ホール

名古屋市中村区那古野 1-47-1 TEL (052) 581-5678(総務)



## ■名古屋駅から東へ徒歩 7 分

地下街「ユニモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。

## ■地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ

名古屋国際センタービルの地下とつながっています。

## ◆一般演題ご発表の先生方へ

○一般演題 講演時間 12 分 討議時間 5 分

○発表形式

使用ソフト：Power Point(Windows・Mac を USB 等で提出)

○講演は一画面のみでの発表となります。

○投稿用抄録（研究会当日までに弊機構担当者へ提出して下さい）

「第 37 回東海川崎病研究会会誌」投稿用抄録…………… 1 部

[1200 字程度、図表 3 枚以内、Word 等テキストファイルで作成された電子媒体（USB 等）]

◆参加費 1,000 円

本研究会は日本小児科学会専門医(旧制度)更新単位 基本単位：3 単位になっています。

本研究会は日本小児循環器学会認定地方会の研修集会(8 単位)になっています。

日本小児科学会専門医（旧制度）制度の研修集会(3 単位)になっています。

但し日本小児科学会/日本専門医機構 専門医（新制度）の研修単位にはなりませんので、ご注意下さい

当番世話人

豊川市民病院 小児科 木曾原 悟

(連絡先：日本血液製剤機構 山口 聡 yamaguchi-satoshi@jbpo.or.jp)

## プログラム

14:30 ~ 14:35

1. 開会の辞

豊川市民病院 小児科 木曾原 悟 先生

14:35 ~ 15:26

2. 一般演題 I

座長

愛知医科大学 卒後臨床研修センター 北川 好郎 先生

I -① 『喉頭浮腫とリンパ節腫大による気管狭窄を伴い

気管挿管に至った川崎病再発の一例』

岡崎市民病院 小児科 鈴木 良輔

I -② 『アデノウイルス感染症に合併した川崎病の1例』

名古屋記念病院 小児科 加藤 真生

I -③ 『川崎病治療不応例における当院受診前のリスク因子について』

名古屋第一赤十字病院 小児科 岸本 泰明

15:30 ~ 16:21

3. 一般演題 II

座長

名古屋第一赤十字病院 小児科 岸本 泰明 先生

II -① 『当院における川崎病 IVIG 不応/IFX 投与候補例の季節性変動』

あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科 河邊 慎司

II -② 『川崎病急性期治療におけるポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンと

pH4 処理酸性人免疫グロブリン製剤の種類と濃度による効果の差異』

名古屋第二赤十字病院 小児科 岩佐 充二

II -③ 『冠動脈病変合併リスクの高い川崎病患者に対する

免疫グロブリンと免疫グロブリン・プレドニゾン初期併用投与の

多施設共同前方視的ランダム化比較試験』

名古屋大学医学部附属病院 小児科 加藤 太一

《 Coffee break 》

16:40 ~ 17:50

4. 特別講演

座長

豊川市民病院 小児科 木曾原 悟 先生

### 『いか問的アプローチによる川崎病と心エコー』

NTT 東日本札幌病院 小児科 布施 茂登 先生

17:50 ~ 18:00

5. 閉会の辞

名古屋大学医学部附属病院 小児科 加藤 太一 先生

※記載されている薬剤につきましては、各社添付文書をご参照ください。

共催 東海川崎病研究会, 一般社団法人 日本血液製剤機構